

# 醉眼流旅日記 〈37〉

## OBの甲子園

村松 友視

題字も

イラスト／灘本唯人

私の母校である静岡県立静岡高校が、甲子園大会に出場することになった。毎年、県大会の予選の時期になると、どうも気が落ち着かなくなる。かつては「文武両道」を謳い文句とする我が母校は、勉強と体育の両面における羽振りを誇り、甲子園大会優勝の記録もある（もともと、それは今から七十三年も遡る大正十五年のこと）。

ところが、最近「文」すなわち勉強の方面はともかく、「武」すなわち体育の象徴である野球の成績が芳しくなかった。県大会の予選なども油断できず、名前も知らない学校に一回戦で敗れることも出来るありさまだ。そこで、なるべく応援に出かけるようにしているのだが、私が行って勝ったのは一度くらいで、「敗け男」みたいなイメージまでついてしまった。

母校の先輩である山川静夫さんなどは、県予選から甲子園大会あたりまで、毎年スケジュールをあげているという気の入れようだが、無理矢理あげたスケジュールが無駄になるケースの連続だった。

ところが、今年の春の選抜大会につづき、静岡高校が何と夏の甲子園大会出場まで決めてしまったのだ。つまり、春夏制覇というやつである。こういうことは、関係のない人には馬鹿みtainな事だが、関係のある人間にとっては一大事であり、いま私は一回戦の倉吉北高との対戦を前に、やや興奮気味にこの原稿を書いている。

私は、今年の夏の県予選には一回だけ応援に行った（山川先輩は、全試合に足を運んだのではなからうか）。私が行ったのは準決勝の対掛川西校戦……これが実質的な決勝だろうと言われた試合で、いやなかなか緊迫した試合だった。けっきょく、二対〇でここを切り抜けると、決勝戦は十五対一で圧勝し、甲子園へと駒を進めたというわけだ。

その準決勝の日、私は朝六時に静岡の友人宅へ電話を入れ、その日の天候を聞いた。時どき雨が降るらしいが、まあ決行するだろうというので、七時四十五分の新幹線で静岡へ向った。駅前に車を停めて待っていてくれた友人とともに球場へ行った。



頃は、カンカン照りになっていた。傘は不用となったが、スタンドに陣取った私は、首にタオルを巻き、帽子をかぶり、サングラスをかけてグラウンドに目を向けた。

先発するエース高木がピッチングをしていたが、なかなかの風格だった。試合は、あきらかに我が母校が有利に進めていき、最終回にちよいとした波乱があったものの、けっきょくは勝利をものにした。心配した雨が上ったことも不思議だった。何しろ私は有名な雨男であり、出かけて行けばかならず雨が降るのが常だったのだ。ところが、今回は荒れ模様空がすっかり澄み切り、強い太陽が照って絶好の野球日和となった。すべてがうまくいったわいと、友人と昼めしを食べながらビールで乾杯し、試合結果をあれこれと批評して盛り上った。

「それじゃ……」

と席を立つ友人を不思議そうに見上げると、

「きょうは日曜日じゃないんだから、仕事があるんだよ仕事だ」友人はあきれ顔を残して店を出て行った。時計を見るとまだ十二時半、いつもなら朝昼兼用の食事をするあたりの時刻だ。だが、昼間から一人で酒を飲むわけにもいかず、私はすくすと駅へ向い、ふたたび新幹線で東京へ帰った。新幹線の中で腕を見ると、思い切り陽にやけて真っ赤になっていた。

次の日、腕がさらに赤くなって腫れあがり、火傷の様相を呈してきた。その火傷がようやく治って、いま皮がむけてきたところだ。その腕の痒さをこらえつつ、母校の勝利を祈って原稿を書く……いや、美しくなくとも、それが私の夏を過す私の姿なのだ。さて、甲子園出陣後の静岡高校は、いったいどのような顛末をたどるのだろうか。





嶋本昭三研究所アトリエにて 撮影／米田定寛

KOBECCO '99

うすい

ひろこ

〈紙コップアーティスト〉

## 紙コップで人とのつながりを

「アートはワクワクやドキドキを与えるものでなくちゃ」。これまでも「千人で話せる糸でんわ」や風船に乗り地上の人と話す「空中糸でんわ」といったユニークなパフォーマンスを繰り広げてきた紙コップアーティストの「OOO」こと、うすいひろこさん。「糸でんわって超アナログ、だけどコミュニケーションとしてはすごく新しい」。

つい二年前までは美術大学を志す浪人生だった。予備校では「みんなが同じ絵を描いてて気持ち悪かった」。ある日、図書館で世界的な前衛芸術家、嶋本昭三さんの著書を読み、共感。そのまま故郷茨城県をでて、嶋本さんに弟子入りした。「誰もやってないことをやれ」という嶋本さんの言葉に「どこにでもある、身近なものを」と紙コップを思い付いた。

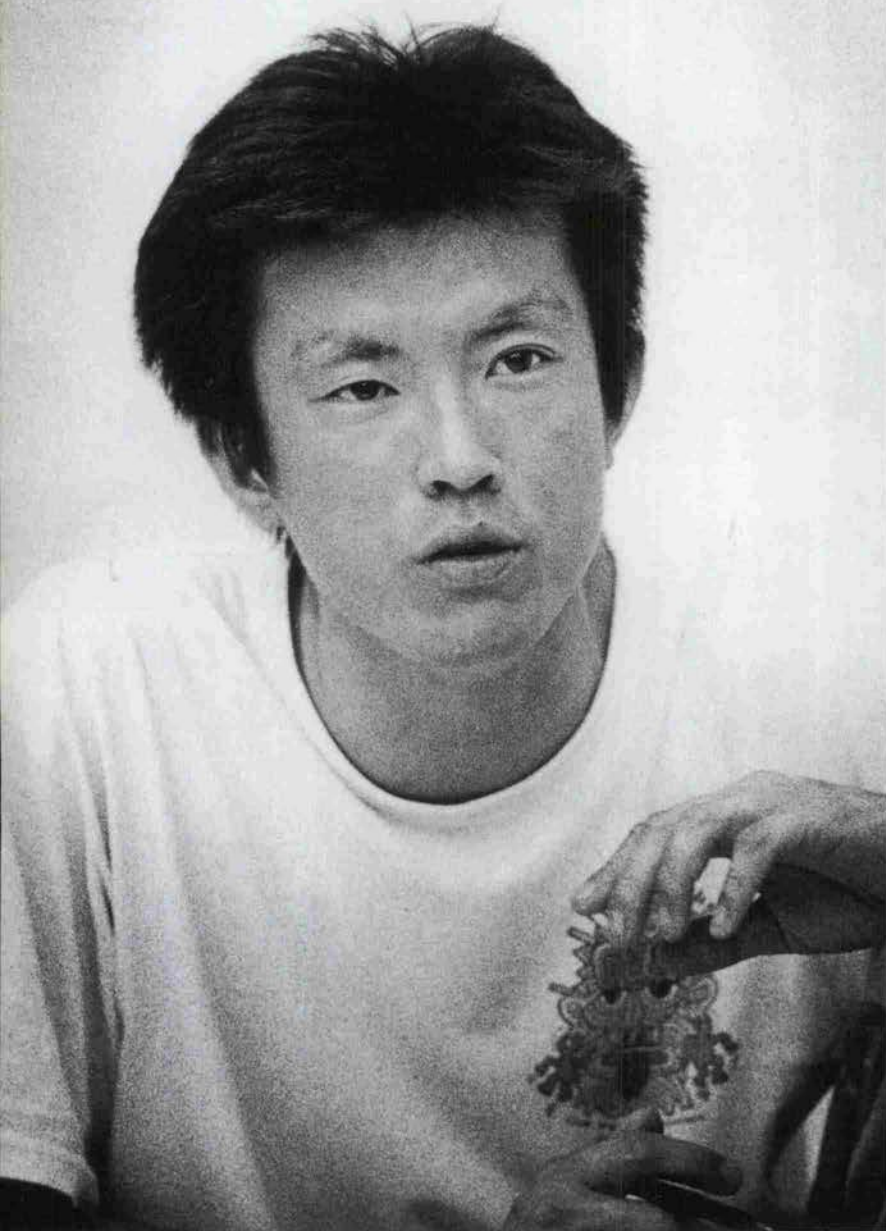
「ありきたりのものをありきたりでなくする」創造の楽しさと可能性が紙コップにはあった。例えば、数百の紙コップを球形につないだオブジェは「二十一世紀をみる百の眼」を表現する。頭にかぶり紙コップ人間に変身して街を歩く。「美術館だけがアートを楽しむ場じゃない。見る人が自由に参加して楽しめるように」。この精神が「OOOの作品に息づいている。最近、紙コップを糸でつないで音響装置や楽器を作るワークショップを行ったり、使用後の紙コップに植物の種を植えメールアートとして送るなど音楽やエコロジーの、予想外の分野の人とのつながりも増えた。「人との出会いからアイデアが生まれる。これからも創造と発見の繰り返しですね」

〈宇都宮〉

KOBECCO '99

吉村 シュークリーム  
〈劇団赤鬼代表〉

## 神様がトビラを開いてくれた神戸で



新神戸オリエンタル劇場リハーサル室にて 撮影／米田英男

「神戸から飛び出したホットぶれぜんたーず」をキャッチコピーに「劇団赤鬼」を旗揚げして三年が過ぎた。当初二百五十人ほどだった観客動員数が今年は十倍の二千五百人を超えた。「何があるのか見えないけれど、もっと上を目指していかないと。現状に甘えることはない。」

中学でサッカー、高校では水泳、神戸大学教育学部に進学してからもアメフト部で泥にまみれる体育会系だった。そんな彼が芝居と出会ったのは、アメフトの練習の帰り道。演劇部の張り紙に心が動いた。「君もスポットライトを浴びてみないか!」。クラスのリリーダ格であり、父親の教師姿に憧れ、大河ドラマに夢を見ていた彼は十九歳の夏、方向転換を図った。

劇団では脚本、演出、俳優と何役もこなす。団員に求めるのは自発的に考える力。「脚本を作った僕よりもその役を知り尽くして欲しい」。書き下ろす台本には歴史に残らない人たちにスポットを当てることが多い。「歴史に残らなくても誰かの胸には、その人の人生が刻まれていると思うから」。震災の経験も表現できる力がつけばいつの日にか舞台にと考える。

共感、共鳴、共笑、共泣。劇団の芝居は必ず観客を思いつきり笑わせ、泣かせてくれる。「わかりすぎる芝居だと言われることもあります。わかってもらわなければ伝わったことにはなりませんよね。阪神・巨人戦の五万人よりもっと多くの人に観てもらいたい」。十二月の本公演を前に今日も夜中まで見えない壁との格闘は続く。(前田)





←ウィッセル神戸選手激励  
神戸の市民サッカーチーム「ウィッセル神戸」の99年  
Jリーグ戦成績は、5勝1分9負（12位）観客動  
員49088人。セカンドステージ開幕前の7月  
16日、選手の激励会が相楽園で開かれた



←自衛隊との集い

震災を機に始まった市民と海上自衛隊の集い。7月  
17日の夜、生田社会館で定期総会が開かれた  
（田崎俊作会長を囲んで）

→二紀会入選者祝賀会  
第46回関西二紀展・神戸二紀会の入選者祝賀  
会が、6月30日午後6時より東天紅で開かれ、  
同人、一般、初入選の人々が紹介された



↑市川猿之助大入成功祈願

松竹座9月・10月公演、スーパー歌舞伎「新・三  
国志」の大入成功祈願に、6月17日の夕暮れ、  
市川猿之助が演じる主人公「關羽」を祝する「關  
帝廟」に、市川笑也と共に名古屋公演から駆け  
つけ参拝。震災から美しくよみがえった「關帝  
廟」で地元の華僑の人々が歓迎

## K O B E コウベスナップ S N A P



←松通家四代  
松通家が80周年を迎え、「ああ、万事雲霧がお  
ん・な」を、三代目ウドノ葉宇子さんが文園社か  
ら出版。7月5日出版記念会を松通家で開いた  
笹山市長を囲んで、二代目礼栄さん（右）三代目葉  
宇子さん（中）四代目麻里絵さん（左）



←戸谷さん安らかに  
元姫路市長の戸谷松司氏が、6月26日に病気のため逝去。姫路  
城を世界文化遺産に、姫路市を文化的な都市に創り上げた功績  
は大きい。合掌



←「円虹」5周年  
平成7年創刊の旬誌「円虹」が5周年を迎え、主宰の山田弘子  
さんを祝う日が、7月8日ホテルオークラ神戸で開催。子供た  
ちの俳句にも力を入れる山田さん、沖繩から来神した子供たち  
とともに



↑華やかに35周年

35周年を迎えた若柳金吾師（金鈴会）が、7月  
3日・4日、新しい「こくさいホール」で、人間  
国宝の中村鴈治郎丈をゲストに迎え盛大な記念  
舞踊会を開催した。写真は義太夫「吉野山」の  
静を演じる中村鴈治郎丈と忠信を演じる若柳金  
吾師が出演前に





神戸市・リオ市姉妹都市間交流イベント  
サンパ交流会



→各会場で神戸まつりにぎわう

今年も多くの人でにぎわった神戸まつり。各会場ではそれぞれに個性的で楽しいパフォーマンスが繰り広げられた(写真左・ふれあい中央カーニバル、写真右・バラエティステージ)

→サンパ交流会

7月18日、神戸ポートピアホテルにてITC世界大会が盛大に開かれた。開会式では高田宮妃殿下が流麗な英語でのスピーチを。兵庫県産農林水産部、山下神戸市助役からのお祝いのご挨拶が述べられた。



## K O B E コウベスナップ S N A P



→もともち夏の風物詩  
7月27日の夕べ、恒例の元町夜市が1丁目から6丁目まで満員で大繁盛。ゆかた美人も勢揃い



↑最先端のネイルアーティストが集合

7月20日六甲ファッションマートにて'99ネイルフェスティバルが開催された。400名近いネイルアーティストがコンテストに参加し、専門学校生によるファッションショーなど華やかで繊細なネイルアートが数々披露された

→子どもの頃のワクワクする  
気持ちがいっぱい  
北長狭ギャラリーでわっくん  
(満願克己さん)の個展が開か  
れた。少年の気持のいっぱい  
つまった楽しい作品がギャラ  
リーに並び、連日多くの人が詰め  
掛けた



→モーツァルトの世界へ誘う  
11月5日に神戸松方ホールにて開か  
れるアンサンブル・神戸の定期演奏  
会「桂小米朝と巡るモーツァルトオ  
ペラアリアの世界」に向けて、ソリ  
ストオーディションが7月8日行わ  
れ10名のソリストが選ばれた



→コンチエルト2周年  
7月18日、ミュージック・グ  
ルメ船「コンチエルト」が2  
周年記念クルーズを、左から、  
料理プロデューサー 岡田徳さ  
ん、コンチエルトクイン 宇  
都慶子さん、南部靖之 パソナ  
グループ代表

→三木会演奏会開かる  
第4回三木会の演奏会と「レ  
モスライツ」コンサートが7  
月17日「セントス・トラオー  
ド」にて、約100名を集  
めて催した



ある集い

## 神戸“アスリートタウン”クラブ(KATC) 体を動かす楽しさを感じる街に

### 平成11年度 神戸“アスリートタウン”クラブ総会



満1周年のKATC総会で

震災後、神戸市より発表されたプロジェクトのひとつである「神戸アスリートタウン構想」の理念にもとづき、この構想の実現を願う人々が集まり、市民レベルで推進していく組織として、昨年の四月十七日に発足したのが「神戸アスリートタウンクラブ」(会長 皆木吉泰・前神戸市医師会会長)である。

KATCには、事務局、事業企画部会、調査研究部会、情報整理部会、広報部会、スポーツボランティア推進部会の各部があり、運営委員会が企画、運営方針が決められ、会員と共に活動を行っている。

発足後一年間の主な活動として、昨年五月に開催された第一回ハローライフ・フェアに参加、十月に行われたスポーツ・コンディショニング・フェアにはクラブとして運営にも携わった。また、今年一月には「健康と栄養」の講演会を主催、他にもスポーツや健康に関するイベントに積極的に参加協力をしている。

思いっきり体を動かした後の爽快感を体験した人は多いはず、どの世代の人でも誰でもそれなりに、健康をベースにした体を動かす環境が整った街にしよう!というのが、KATCの熱い思いである。

そして、震災で大きなダメージを受けた神戸の街が「元気」な街として次の世代にバトンタッチされ、二十一世紀に存在することを強く願っている。

去る六月十七日には、満一年を迎えたKATCの総会が「健康ライフプラザ」で開催され、神戸市の前野保夫助役をはじめ、多くの人々が参列し、今後のKATCの活動に熱いエールを送った。

〈KATC広報副部長 田上亜紀子〉

■連絡先・入会申し込み先/神戸アスリートタウンクラブ事務局  
神戸市中央区東町116・1シティライフ三宮ビル6F

TEL078・331・8662

FAX078・331・8663



# 神戸武夷登山会 国境を越えた再度山早朝登山



満60周年記念祝賀会員大会での登山記録の表彰者

烏龍茶の産地で有名な中国福建省の名勝「武夷山」の名前を頂いた「神戸武夷登山会」が、体育を奨励、精神修養を主旨とする目的で、一九三五年に福建公所（元町駅西口前）において創立されました。

創立して三年目の一九三八年に中日戦争が始まり、同年神戸大水害による一年間の休会、戦争末期の神戸大空襲、食糧難等でも二年間の休会。しかし、阪神・淡路大震災のときは家屋は被害を受けたにも関わらず、復興後すぐに登山を始めたことは、登山者の自己の健康管理に対する心構えに敬服するところです。

武夷登山会は創立以来一貫した会則のもと、国籍や民族の違いに関係なく、中日の友好に取り組んできました。これからも日中両国のみならず、世界各国の平和のため、会を通じて一人でも多くの人々と友好関係を持てれば幸いです。

創立以来の総会員は千二百〜千三百名にものぼります。六十年度の正会員は二百十一名で、六十年間も続けてこられたのは、全会員のご理解とご協力によるものだと思っております。

本会の主旨に賛同し、自己の健康のため、早朝登山とともに楽しんでいただける方々の入会をお待ちしております。

〈神戸武夷登山会会長 詹永年〉

■連絡先／神戸市中央区山本通4・23・2  
TEL 078・241・5110



# 竹久夢二

## 「四つの恋のものがたり」

〈その四〉最初の恋・未亡人タマキとの出会い

中右 瑛

人とのめぐり合い、熱烈な恋。ときには激しく、ときには甘美に、恋多き夢二だった。

しかし、その恋はいつも悲しい結果となって終結する。

夢二の最初の恋もそうであった。

明治三十九年十一月一日、早稲田大学にほど近い鶴巻町にエハガキ店「つるや」が開店した。店主は、目の大きい美しい未亡人・岸タマキ。

開店から五日目のこと、長髪の異様な風態の青年が店を訪れた。それが夢二だった。

夢二は「つるや」の店先に座っていたタマキを見て、心をとぎめさせた。それが夢二の初恋といえるものだった。

それから何日目か、夢二が描く肉筆エハガキが「つるや」から売り出されたのだった。

当時、大学対抗の早慶戦が大人気。それにあやかっ、夢二の野球スケッチ・エハガキは飛ぶように売れたという。

後年の「タマキ回想」によれば、

「つるや開店から五日目、長髪の異様な青年が来まして、厩治郎のエハガキはないかと尋ねて参り、そんな役者のエハガキなんかない

竹久夢二筆 この絵は、少年十二か月シリーズのうちの秋の図である。すすきの生い茂った野原。独りぼっちの少年が月に向かって叫んでいるように見える。童謡詩を絵にしたような図である。



と云いますと、そんなら芸者のエハガキはと云われ、そんなものもありません、と申しました。そんなら何を売るのでとの事にて、図案と風景ばかりですと云いましたら、君、そんなものばかりでは商売にならぬではないか、僕が早慶戦のエハガキを描いてやるから売りたいと、毎日野球スケッチをくれました」

人気さし系画家といえども、一人身の孤独な青年の前に登場した美しい女性。夢二はごく自然に、その女性と恋に陥ったのだった。

タマキは夢二より二歳年上。金沢の旧家の娘で、父は富山治安裁判所の判事・岸六郎。タマキは十九歳のとき、日本画家で高岡工芸学校の絵画教師をしていた堀内喜一に嫁いだ。二人の子をもうけたが、夫は若くして病没。タマキは自立を志し、東京にいた兄の岸他丑を頼って単身上京し、兄の援助で「つるや」を開店したのであった。

二人の恋は激しかった。出会いから間もなく二人は電撃結婚を果たす。夢二は兄・他丑に、自分の戸籍謄本を示しての真面目な求婚だったという。

明治四十年一月、夢二は二十四歳、タマキ二十六歳だった。

タマキと出会って以来、夢二の絵は激変した。今までの、小学生・中学生向きの明るい健康的な女の子スタイルだったが、恋に泣

く薄幸の女性が多くなり、まゆ毛のタレ下がった、目の大きい、憂いのあるやさしい女性像へと変貌していった。

あの夢二特有の、目のうるんだ哀愁のある美人画は、タマキとの出会いがあつて生まれたという。タマキの出現が、夢二芸術を特徴づけ、大きく開花させたのだった。

やがて夢二式美人画は一世を風靡していくのである。

二人の楽しい生活は夢のように過ぎていく。結婚して一年後の四十二年二月二十一日、長男・虹之助が誕生。一見、幸福そうな家庭であつたが、この恋はそう長く続かなかつた。やがて離別せねばならない運命となる。

実際のタマキの性格は、夢二が描く病弱なやさしい性格とは大いに違つていた。タマキは社交的で派手すぎ、気性の激しい女性だった。

一方の夢二は耽美的で、少年のように純真で何事にも一途、気ままなロマンチストとは名ばかりで、感受性強く、我がまま人間だったという。二人の性格はまるで正反対、噛み合うはずはなかつた。

結婚して二年余り過ぎた明治四十二年五月三日、二人は突如、協議離婚した。一児までもうけながらの破局。その原因は何か？ 夢二の浮気か？

後年の『タマキ回想』によれば、夢二は相当な嫉妬深い男だったようだ。自分の思うようにならぬと、自暴的になつたという。加えて人気者のわりには収入が少なく、生活費の問題もあつた。離婚届も夢二の一方的な仕業であつた。

その後の二人は不思議な縁に翻弄されるのだった。

離婚して二年後の四十四年五月一日、別れたはずの二人の間に、次男・不二彦が生まれたのだ。二人は離婚後も、同居、別離をくり返し、愛と憎悪の交差した男と女の不思議な生活がつづいていたのだつた。



セノオ楽譜「ほととぎす」夢二装画

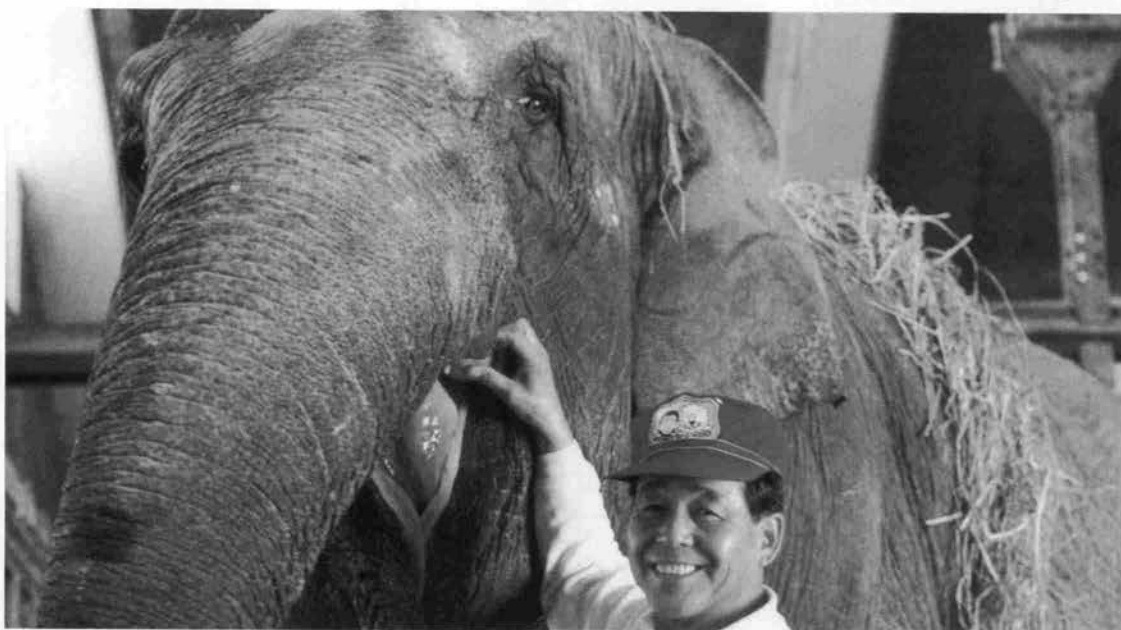
■中右 瑛（なかう・えい）  
抽象画家。浮世絵エッセイスト  
1934年生まれ、神戸市在住  
〔受賞歴〕行動美術展において奨励賞、新人賞、会友賞、行動美術賞受賞。浮世絵蒐集研究の功績により浮世絵内山賞受賞。半どん現代美術賞、兵庫県文化賞（1998年）など受賞  
現在 行動美術協会会員 国際浮世絵学会常任理事。著書に、抽象画集「エリート・リンド／ミラクルブルーの世界」「浮世絵ミステリー藝談」「写楽は18才だった！」「忠臣蔵浮世絵」「日本・夢二黒猫綺譚」がある



# ZOOM IN ZOO

ゾウ諏訪子（56才）  
最後の齒に生きる！

亀井一成の  
ズームインズー



おなじみゾウの諏訪子（今年56才）と筆者

1950年9月28日、ゾウの諏訪子（7才）が神戸に来たときには、王子動物園はまだなかったたので、兵庫県庁北の諏訪山公園内にあった旧諏訪山動物園に迎えたのです。飼育係は新前のボクは19才でした。

「オイ！カメイ、ストーブが消えてるじゃないか」松村副園長の大声。

一日おきの宿直、天井の高いゾウ舎の暖房は「石炭ストーブ」でした。やつとうまく燃やしても、2時間はとてももちません。

その「石炭」の納入も、動物たちのエサも、全て肩に背負って急斜面を運んだのです。その斜面にあった旧諏訪山動物園跡は、子供の公園として今も残っています。

「しまった！」

竹のガンジキ（クマ手）や竹ボーキを、ゾウにバリバリバリよく食べられたことは忘れられません。

敗戦後の食糧難当時のこと、ヒトが食べるようなイモやニンジンなどとてもやれません。芽の出たものや市場には出せないものばかり、ゴロゴロと大きな樽でよく洗ってやるのです。

ゾウにやる主食は稲わらばかり、厚鎌（草刈鎌のぶ厚い刃のもの）と縄を持って、ゾウの大好物である竹やササ、それにスキを裏山から毎日のように刈ってきました。

## 野性でのゾウの主食

野性のゾウは樹の皮を剥ぎ、竹やササを主食にしているので、園がとても丈夫です。

「おつちゃん、ゾウさんに歯あるの？」奥園、つまり大きな臼歯があるだけで外からは全く見えないから、学童からの質問がよくありました。

バチーン バチーン

長い鼻で握ったササを、前足の向こう脛にたたきつけて泥をはたき落としから

バリバリ ザクザクザク

巨大な草食性のゾウは、起きている限りモグモグ食べないと栄養の維持ができません。

諏訪子が来た翌年1951年3月20日現王子動物園が開園されましたが、ゾウ舎は木造で、夜は前後の足をクサリで繋いでおり、夜には横になるのでクサリが足首を痛めます。毎朝、足首のクサリを左右とりかえてやったのです。そして3年め、現在のゾウ舎が完成し



樹の皮を剥いで食べるゾウ

たのです。

「カメイさん、えらいことや！大工仕事中にうちのゾウがカンナ（鉋）を食べてしまったんですわ」

新しいゾウ舎に移り、ようやく落ち着いた頃、阪神パークのゾウ飼育係の友人からの電話です。「心配いらないよ。クマ手や竹ボークの針金や金具は器用に外しているよ」と言ったものの、カンナの刃とは心配でありました。

翌日、「カメイさん、木だけ食べて刃は落ちてたわ」の電話にホッとしましたのでした。

## ゾウの歯は奥から押しだすように生える

ゾウの歯は臼歯だけで、女性の足の裏位の臼歯が上下に2個つつあるので、生まれて約半年位で最初の歯が生

えはじめます。

ヒトの場合は最初の歯は乳歯です。そして小学生の頃から永久歯に生えかわりますが、もう2度と生え代わりません。

ところがゾウの歯は、3〜4年で最初の歯が抜け落ち、次の歯が前に押し出すように生えてくるのです。その後



痛んだツメの治療中

は8〜10年めというふうには、平均10年に一度は古い歯を押し出し新しい歯が生えるのです。

「どうしたんだ！ 諏訪子！」

少々熱があつてエサを全く口にせず、沈みこむ毎日、時折り心配させられましたが、古い歯が痛くて何も食べられなかったのです。

## やわらかく栄養度の高い近代飼料が長寿に…？

豊かになった近頃は、青い牧草を買い入れ、イモ、ニンジン、リンゴ、バナナ、カボチャ、ミカンに人工飼料をたっぷり食べているので、どこのゾウも丸々肥っています。背中や胸の骨が目立っていた、かつてのゾウたちが哀れでなりません。

ところで56才を越え、いよいよ老衰が目立ってきた諏訪子が心配です。「スワ、口を開けろ！」

ウーン、もはや若い頃の歯ではありません。

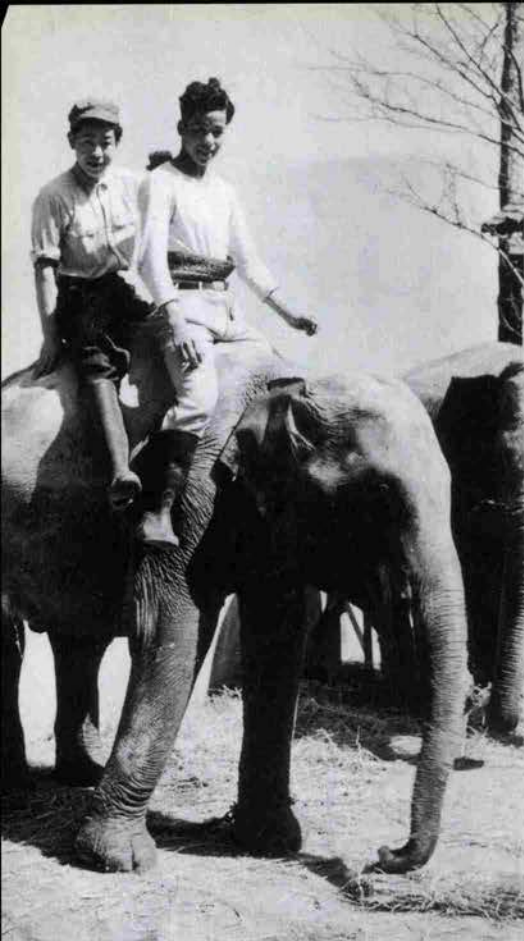
ゾウは、歯が生え換わる回数を決まっています。最後の歯が抜けることは死を意味する説がありますが、ボクは信じたくありません。

毎年9月15日敬老の日には、長寿動物のお祝いが催されます。昨年も諏訪子とともに祝ってもらったマサイキリンの「キリコ」は12頭の子キリンを産み、満30才で、今年の1月8日老衰死しました。

毎日、痛んだツメの治療にゾウ舎を訪れる獣医さんに、眼を細め我慢する諏訪子はすこぶる元氣です。

チャリリン チャリリン

諏訪山の急な坂道を北へ登り、ドライブウェイを、麻耶子と諏訪子の2頭のゾウの背中に乗って散歩したことが、走馬灯のようによみがえってきました。「諏訪子！」元氣をだすんや！ 長生きするんやで…。



諏訪子の背に乗って（1950年）。前が若かり頃の筆者

亀井先生撮影のかわいい動物たちの写真（今回はゾウ）を5名様にプレゼントしています！

ご希望の方は、ハガキに住所・氏名・亀井先生へのメッセージ等を書いて月刊神戸子「ZOO」係までお送り下さい。





# 社会全体で高齢者介護を支える 介護保険制度について

お話を伺った方 圓尾 辰夫さん 兵庫県健康福祉部長寿社会課室長(介護保険担当)



すでに日本は高齢社会に突入していると言われ、2025年には要介護の高齢者が約520万人にも達することが予測されています。こうしたことから、高齢者が高齢者を介護する「老老介護」といった状況を招いたり、介護の長期化、重度化など過度の介護負担が家族を圧迫している姿から「介護地獄」といった言葉も生まれています。そこで、家族だけでなく、社会全体で介護を支えていくことを目的として、介護保険制度が平成12年4月から施行されます。今回はその介護保険制度について長寿社会課室長の圓尾辰夫さんに伺いました。

## 介護保険制度とはどのような制度なのでしょう

介護保険制度は、家族だけで介護に取り組むのではなく、社会全体で介護を支えていくとする制度です。これまでは保健と福祉が別々に分かれていた介護サービスとそれを伴う負担の関係を明らかにして、介護を受ける利用者の希望を生かした介護サービスが、総合的に提供できるように取り組んでいくものです。

## 具体的な仕組みについてお聞かせ下さい

介護が必要となった場合は市町の窓口へ申請します。そして介護が必要かどうかを判定するため、家庭などへ調査員が赴

き、85項目について聞き取り調査を行います。その際に特に留意すべき問題点があれば、特記事項として記録します。このうち83項目の調査内容をコンピュータで一次判定し、更に主治医の意見と特記事項を加えた資料を基に、保健、医療、福祉などの専門家で構成される介護認定審査会で審査判定が行われます。そして介護が必要な場合は要支援、要介護1～5までの6つに分けて認定され、原則として申請から30日以内に結果が通知されます。また、この認定結果に不服がある場合は、県に設置される介護保険審査会に不服申立てができます。この要介護認定の受付、調査は来年の施行に先駆けて今年の10月から始まります。

## 保険料はどのようにして納めるのでしょうか

65歳以上の方は、老齢・退職年金が月額1万5千円以上の方は年金から特別徴収(天引き)されます。月額1万5千円に満たない方は個別に納めていただきます。保険料は住んでいる市町村のサービス水準などによって算出されるので市町村ごとに差が生じます。また40歳から64歳までの方は、医療保険に上乗せして納めていただきます。保険料は被保険者の収入に応じて算出されます。

## サービスはどのようにして受けるのですか

適切な介護サービスが利用できるように市町村、在宅サービス事業者、介護保険施設などと調整を行う介護支援専門員がいます。この介護支援専門員とご本人、ご家族が相談しながら介護サービス計画を作成します。この計画をご本人が作成することも可能で、これにより、最初から1割の負担で各サービスが利用できます。計画を立てずにサービスを受ける場合は、一旦利用料の全額を負担し、事後9割が払い戻されることになります。

介護サービスは、在宅サービスと施設サービスに大きく分かれます。要支援状態の認定を受けた方は在宅サービスしか受けられません。要介護状態の方は両方のサービスの中から選択することができます。ただし、40歳から64歳の方は、要介護の原因が、初期痴呆、脳血管疾患など老化が原因とされる15種類の病気の場合のみしか介護サービスを受けることができません。また、在宅サービスの場合、要支援及び要介護1～5の段階に応じて、利用できるサービスの限度額が定められます。

なお、要介護認定は原則6ヶ月毎に見直しが行われます。

我が国の高齢化が世界に例を見ない速さで進展しているなか、介護の問題はいづ誰が直面してもおかしくありません。介護保険制度の施行を前に成熟社会にふさわしい介護のあり方について、みんなで考えてみる必要があるのではないでしようか。



# 安心して暮らせる社会のために 介護保険

判定を受けたら  
程度に応じた  
サービスも老老  
ケアプランを  
たてるんだね

介護が必要に  
なったら  
要介護認定を  
受けるのね

高齢者の介護を  
社会全体で支えるのが  
介護保険なんだ

毎日のように  
私一人では  
とても……

家庭では  
無理だね

介護する  
高齢者……

私達が毎月支払う  
保険料と税金で  
サービスの費用が  
出るんだ

サービスの費用の  
10%が自己負担金だね



神戸ファッション市民大学OBによるグループ 神戸のファッション都市化をめざす

**K.F.S.NEWS** 201

コウベ ファッション ソサエティ

事務局／神戸市中央区下山手通3-1-18  
ツインズトアビル 4F 月刊神戸っ子内  
TEL.078-331-2246  
FAX.078-331-2795

## KFS25周年記念講演と祝賀会開く



講演する今岡寛和さん



神戸市鶴崎産振局長より表彰を受ける石原会長(左)



今岡さんを囲んで

神戸がファッション都市化をめざし、神戸ファッション市民大学のOBがKFS（石原暁美会長）を創って25周年。7月10日ホテルゴーフルにおいて今岡寛和さんの「祝祭ルミナリエを語る」講演と祝賀会が開かれ、21世紀に向け、新たな出発を始めた。



25周年を喜ぶゲストと会員たち



# ママといっしょに



あかちゃん：森本倫太朗 くん  
(平成11年3月31日生まれ)

パパ：修 さん

ママ：真由美 さん

「強く、たくましく育てね」

★佐本産科・婦人科★  
佐本 学

神戸市兵庫区中道通4-1-15  
TEL:078-575-1024 (病室TEL:078-577-7034)  
市バス上沢4 停南スグ  
●駐車場完備●

# 神戸を福祉の街に

<295>

## 胎児の生命をサポートする 活動を始めた円ブリオ神戸

神戸まつりが行われた七月二十日に、ポートアイランドの国際会議場で元NHKアナウンサーで現青森県立図書館、青森近代文学館館長の鈴木健二氏の講演が行われた。

鈴木氏は自分の人生で出会ったさまざまな人々との交流のなかから「他人のために何をしていくか」が生きていく上で大切な一つのことだといふこ

とを学び、「意味なく生存している人間はいない」と考えるようになり、そこから、この世に生を受けることを拒む中絶やピルの使用には反対だという思いを語った。

この講演会を計画したのは「円ブリオ神戸」という小さなグループである。エンブリオというのは英語のembryo、すなわち八週までの胎児のこと。母体内の胎児の生命を尊重し、支援していくという主旨で発足した活動である。この円ブリオの名付け親が鈴木健二氏である。兵庫県は大震災を機に全国の自治体で初めて「災害時における胎児への奨励金や寄付金」の支援を定めている。円ブリオ神戸は、この兵庫県で小さな生命へのやさしさをひろげ、いのちに優しいまちになることを願って活動を始めたばかりである。具体的には一口一円の「円ブリオ基金」を家庭や学校、地域に広め、一人でも多くの赤ちゃんの生命を救済することと、ピルの弊害を訴える生命尊重学習



橋本 明

〈社団法人家庭連環  
促進協会事務局長〉

ビデオ「ピル先進国英国からの警告」を県下各地で上映し、十代をピルから守る運動を展開していくことを当面の目標としている。

経口避妊薬ピルは六月に承認され、八月末には製薬会社九社から十六品目が市場で販売されることになった。しかし、アメリカでは副作用を避けるために、ピルの服用者が大幅に減少しており、イギリスでは年間百八十人がピルにより死亡し、「子どもたちにピルを飲ませることに反対する親の会」が結成され、集団訴訟が起きている。身体

の成長期にある十代でピルを継続して服用するとホルモンのバランスが崩れて乳癌の発症リスクを高めた、静脈血栓症のリスクの増加、またピルに含まれるプロゲ

ストーンゲンは発育期の骨形成にも悪影響をおよぼすといわれている。さらにピルは内分泌かく乱物質として胎児や次世代の子どもた

ちにさまざまな影響を与えると警告をしている人々も多い。

日本でもピルが医師の処方箋で手に入るようになったからには、アメリカやイギリスのように十代の若者たちがたどった苦い経験や悲しみから教訓を学び、被害を最小限に食い止める教育を家庭や学校、地域でこれから行なっていくかねばならないだろう。ピルについて学習することは、人間の生命について学ぶことでもある。

前述のビデオはピル解禁に踏み切った英国で起こっている若者の悲劇と環境ホルモン・ピルについて現地取材をしたもので、円ブリオ神戸で貸し出しをしている。

■連絡先  
円ブリオ神戸  
神戸市中央区北長狭通8・1・8・903  
TEL&FAX 078・371・0788



講演会で「円ブリオ基金」への協力を呼びかけた



# 有馬歳時記



「多くの方に、まず知っていただきたい」  
ボランティア活動を通して

兵衛向陽閣女将 風早笙子さん



売店の一角に女将の手作りの品が並ぶ

太閤秀吉が「兵衛」と名付けたという老舗の旅館「兵衛向陽閣」。大女将の風早笙子さんは、有馬温泉の女将たちでつくる「こぶしの会」初代会長などを務めた大ベテラン。女将業のほかにもさまざまな活動に取り組む風早さんは、団体で、個人で、幅広くボランティア活動をしている。

「女将だから、お客様がいらっしゃるからできるボランティアがあるのではと思って」という女将を取材した。

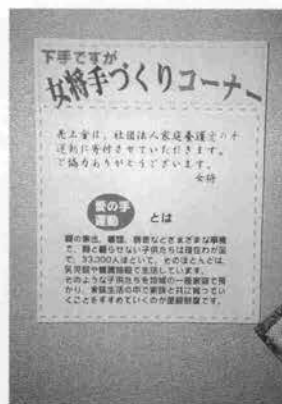
人形筆、炭酸せんべい、有馬籠……さまざまな有馬みやげが並ぶ売店の一角の小さなスペースに、女将の手作りの手芸品が並べられている。「女将手作りコーナー」の売上金は、社団法人家庭養護促進協

会愛の手運動に寄付させていただきま  
す」とのポスター。

もともとボランティア活動に熱心だった女将は、十四年前「有馬友の会」を発足、年四回ほどのチャリティーバザー、ガレージセールなどを行い、有馬福祉協議会に寄付を続けていた。

そんな中で、さまざまな理由で暮らせない子供たちを一般家庭が預かり育てる里親運動を展開する民間の児童福祉団体「家庭養護促進協会」の存在を知り、女将は協会の「愛の手運動」への個人的な協力を始める。現在は今年の十二月を目標に、女将の手作り品の売り上げや、フロント、社員食堂に置かれた募金箱への寄付をまとめて全額家庭養護促進協会へ寄付をする予定だ。

メガネ入れ、小銭入れ、ティッシュケースなどの手作りの品は、女将が仕事を終え帰宅してから毎晩少しづつ作るのだという。自身の着物の端切れなどを使っ



「下手ですが」と女将

露天風呂とご昼食  
ひさご弁当  
**兵衛向陽閣**  
TEL (078) 904-0501(代)

有馬温泉 月光園  
**湯麩館**  
K O R O K A N  
TEL (078) 903-2255  
姉妹旅館 湯の山荘  
TEL (078) 904-0366

テニスでいい汗  
いい湯にとっぷり味に集う  
ARIMA  
SUNNY SIDE UP  
TENNIS CLUB  
TEL (078) 903-1024  
**有馬 徳所 研**  
TEL (078) 904-0551

静寂さにつつまれた  
くつろぎの宿  
国際観光旅館  
**陵楓閣**  
TEL (078) 904-0675  
TELEX 5627-115

た手芸品は、派手ではないが丈夫で、女将の気品と愛情が現れている。  
同じく手作りコーナーに置かれている民芸風の楊枝入れは、女将の知人が愛の手運動の話を聞き賛同し、無償で作って提供してくれているのだそう。他にも、小銭入れのフラスナーなども無料で提供

してくれる人もいるという。  
「少しずつ輪が広がっています。まず知っていたのが第一歩です。幸いうちが旅館で、お客様の目に触れることが多く、それで里親運動・愛の手運動のことを初めてお知りになる方が沢山おられます。それが目的です」と女将。少しずつではあるけれど、女将の活動を

を知り、寄付をしていく人も増えてきている。

「私がさせていただいていることはほんの第一歩なのです。個人にできることは限られてしましますが、それによって輪は広がっていくのです」

助けを求めている人たちに、何かしてあげたい、でも個人の力では...と思っている私たちに、できる協力がある。女将の愛情のこもった手作りの小銭入れをひとつ買うことが、小さな力になるのだ。大きな活動も、そういった小さな力が集まって始まるのだということを女将は教えてくれた。

〈鳥羽朗子〉



風早笠子さん。兵衛向陽閣の女将

## ★兵衛向陽閣から

食事とお風呂が気軽に楽しめる、好評「ひさご弁当」も今年で5周年をむかえ、この夏装いも新たに登場。「ひさご弁当」のメニューは毎月日替り、器は季節ごとに違ったものが楽しめる。

露天風呂と昼食

「ひさご弁当」

一名様6000円 土・日は6500円

(税込・サービス料込・喫茶券付)

11時30分～15時



雅ただようくつろぎの館

**中の坊瑞苑**

TEL (078) 904-0781

会議セミナーからご家族づれまで

**有馬グランドホテル**

TEL (078) 904-0181

日本の伝統  
数寄屋造りの館

**欽山**

TEL (078) 904-0701

チェックイン13:00、アウト12:00  
ゆっくりとお過ごしいただけます。

自然の恵みを  
湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

**古泉閣**

TEL (078) 904-0731

有馬での会食・宴会は懐石料理・ステーキが楽しめるいろり亭「華庭」で!!  
(昼5000円～、夜8000円～)

有馬温泉 政府登録国際観光旅館  
銀水荘別館

**北楽**

TEL (078) 904-3656(代)  
URL: <http://nrjp.com/chyoraku/>



## 神戸と東山魁夷先生

佐野 潤箕 △元神戸新聞社役員

芸術論は他に譲って、神戸と東山魁夷先生との因縁にしばらくしました。

先生は横浜生まれで、一家は神戸西出町に移住（明44）し、入江小学校、県立第二神戸中学、東京美術、ドイツ留学（昭8）。そして文化勲章授章の日、本画壇の最高峰に立たれ、長寿九十歳の生涯で、「澄み切った清冽な美」の名作を残されました。

神戸での第一回展は「東山魁夷代表作展」（昭38）でした。「東山魁夷・私の森展」（平成5）まで、なんと十五回、全国一の催事数でした。私は第一回展より十三回の「わが旅の道」（平成3）まで担当しました。先生は神戸新聞田中寛次社長と「うま」が合い、新宮殿壁画のご用命を受け、その準備の

スケッチ旅行の途次、新聞社に立ち寄られ（昭41）社長室で初めてお目にかかり、以後いい尽くせぬご指導に与かりました。

田中社長死去のとき、丁重な追悼の手紙をいただき宝物として大切に保管しています。

神戸が日本一の展覧会数なのは、先生の神戸に奇する熱い思いからでしょう。

新宮殿の「朝明けの潮」は約二年半を費やし「永遠の生命感をあらわすもの」として海と山を描いた「幅十五メートル、高さ五メートルの大壁画」でした。

この大小下図、習作過程の「朝明けの潮・京洛四季展」（昭44）は入場者数新記録、連日神戸大丸店に行列ができました。京洛四季展の「花明り」「北山初雪」等々、京の四季折々の美の感動は、まだ鮮烈なはず。

奈良唐招提寺御影堂の障壁画は、開祖鑑真和尚一千二百年忌に森本孝順長老が揮毫を発願され、全障壁画完成まで、ほぼ十二年の大事業でした。先生は一切の仕事をやめて海と山の写生に熱中されました。第一期の「山雲濤聲」襖絵二十六面は、群青、緑青という岩絵具を主にした淡い色調の彩色画でした。展覧中のある一日、先生は西出町、入江小学校、神戸二中附近を探訪され、お伴しました。入江小学校の生徒を招

待、解説役もされました。神戸二中同期生瀧川勝二氏、四本潔氏らも来場、魁夷ブームは続きました。第二期の中国三水の「黄山晚雲」「揚州薰風」「桂林月宵」、襖絵四十七面展も開催（昭55）。第三期厨子屏絵「瑞光」三面完成（全障壁画展）（昭57）も開催。唐招提寺御影堂の前庭に、長老のお言葉を拝借すれば「長く偉業を称え、鴻恩に鳴謝する証のため」碑が建立されました。

「こくさいホール」に「新生の樹」遺作の緞帳ができ、色刷りで新聞紹介されましたが、神戸国際交流会館にも「光は海から」の緞帳があり、光る波頭の中に神戸市章が描かれてあるのは、やはり先生の神戸へのご厚志なのでしょう。

神戸ポートピア博覧会開幕に合わせて、交流会館内画廊「ボルティコ」で「東山魁夷・東と西を結ぶ展」（昭56）を開催、開幕式に出席した俳優森繁久彌氏も会場へ顔を見せて、森繁節を連発、先生は静かな笑顔で応対されました。神戸市立博物館の一階ロビーにもタペストリー（壁掛）「瀧江月明」が掛かっています。開館記念「東山魁夷・中国の旅展」（昭57）に披露。安好匠氏が先生のご自宅へ伺候、懇請したわが国唯一のタペストリーです。

さらにもう一つ。月刊神戸つ子編集

室にリトグラフ「濤声」が掛かっています。神戸つ子賞を贈呈したとき、お礼にいただいたもので、贈呈式にはすみ婦人がご出席されました。

先生は「静唱」をリトグラフ化し、販売収益を震災義援金にご寄付されました。

そして、神戸新聞社蔵「暁」、県立美術館蔵「谿紅葉」は先生のご寄贈です。個人蔵の秀作は省きます。神戸の人々はいついまでも、先生を仰慕し「鴻恩に鳴謝」することでしょう。

ドイツローテンブルグ都門に彫られた言葉  
歩み入る者にやすらぎを  
去り行く人にしあわせを

——「ドイツ・オーストリアの旅」より——  
（魁夷）



「山雲濤聲展」で入江小学生徒に説明される東山魁夷先生（昭56・6・27、大丸神戸店）

## ガラスショップ「トアデコ」一周年 黒壁と新たなパートナー宣言



七月二十四日、NHK跡トアガーデンでトアロードまちづくりコーポレーションの創立二周年記念パーティーが開かれ、その事業であるガラスショップ「TOR DECO」の一周年、「TOR ROAD STYLE BOOK」の出版記念もあわせた祝賀会に、関係者らが一堂に会した。

トアロードまちづくりコーポレーションは二年前、トアロード地区のまち



カフェトアガーデンで喜びのあいさつをする清水氏。地域の人々も大勢集まった

づくりの実行力をもつ組織として協議会の働きかけで出資者三十八人によりスタートした。その後、イラストマップの発行、ガラスアートショップやギャラリー、カフェ、ガーデン、トアロードスタイルブックの出版など積極的な活動を進めてきた。中でもガラスショップ「TOR DECO」は、同様のまちづくりで成功を収めた長浜市の「黒壁」からバックアップを受けるかたちでスタートし、店頭の花や緑をふんだんに飾るなど、トアロードのモデルショップとしても地域に大きな影響を与えてきた。

当日は黒壁の創立十周年記念日でもあり、代表者である笹原司朗氏より「わずかな期間で大きな成果をあげられ深い感動を覚えます。これからは黒壁プロデュースを脱皮した、パートナーとしてやっていきましょう」と祝いのメッセージが届いた。コーポレーションの清水俊夫社長は「協力しあうもの同志が同じ日に記念日を迎えるのは本当に喜ばしいこと」と感激を表したう



トアデコの商品のオークションも行われ、盛り上げりをみせた

え、「このようなネットワークをまちづくりのさらなる発展につなげたい」と話した。

また、中西悠花さんが、コーポレーションの最新事業として、七月初旬に完成し既に各書店で発売されている「TOR ROAD STYLE BOOK」(神戸新聞総合出版センター/定価一五〇〇円)の完成を報告、制作の中心となり尽力されたWアソシエイツの水田裕子さんをはじめカメラマン、デザイナーの方々を改めて感謝の辞を述べた。水田さんは「トアロードは掘り下げていくほど、どんどん面白い話がでてくる魅力ある街」と制作後の感想を話していた。トアロードの歴史と新しさを一冊にまとめたこの本は、その魅力を実感するだけでなく、今後のまちづくり活動の大きな指標ともなりそうだ。

### ★クラフトアートフェア'99開催迫る

待ちに待った「トアロードクラフトアートフェア」が10月9日(土)・10日(日)にいよいよ開催される。

今年度は神戸ジャズストリートや旧居留地返還一〇〇年祭等のイベントと連動して、さらにスケールアップしたフェアが期待できそうだ。4月末にオープンしたばかりのトアガーデンを中心に、トアロード沿いに約50ブースもの質の高いアーティストの作品が並び、オークションや吹きガラスの体験、ヘアカットパフォーマンスなど楽しいイベントが盛りだくさん。さらに今年度は、トアウェスト側の車道が歩行者天国になるなど、ちょっとした外国気分が味わえそうだ。

なお、9月29日から10月7日までは、「まちかどギャラリー」としてトアロード、元町地区の各店舗のショーウィンドウに出店者の作品が飾られるから、気に入った作品を見つけておくのもいいかも。



今年度のクラフトアートフェアのリーフレットイメージ



■アジア・レポート

# 豊饒な自然、穏やかな人々、光輝く島 スリランカ

文・近藤直子 (写真も)

その昔、マルコポーロはこのインド洋の小さな島を「世界で一番素晴らしい場所」と賛美した。豊かな自然と共存して栄えてきたこの国は、長いヨーロッパ植民地時代を経ても変わることなくその美しさを保ち続けている。一歩足を踏み入れた途端、多くの人は懐かしきおらかな時の流れの虜になってしまうという。まさにそこはSRI LANKA MATA(母なるスリランカ)なのだ。

神と仏、自然と人が共存する  
穏やかな他民族国家

スリランカは多民族が共存している国である。人口の約七十%が仏教徒でシンハラ人。主にタミル人が多いインドゥ教徒は約十五%、残りはイスラム教徒とキリスト教徒が半分ずつ。仏教は上座部仏教(小乗仏教)で、紀元前三世紀にアショーカ王の息子マヒンダによって仏教が伝えられて以来、シンハラ王朝により手厚く保護され、十三世紀以降は東南アジア各地へと伝播するまでに繁栄した。日本人に神仏混淆の気風があるように、この国の人々も宗教に多くの要素を取り入れてきた。仏教国家のシンハラ王朝では、ヴィシユ神などのヒンドゥー教の神々を四大守護神として祀っていた。寺院に隣接、または寺院の中で仏の脇にそれらの神々が祀られていることもあり、現在でも宗教の違いを超えて現世利益を祈願する参拝者も多い。四月十三日はシンハラ歴とタミル歴の新年で、この日は国民共通の祝日だ。仏陀の生誕、悟り、涅槃を記念する満月の日も、クリスマスも、祝日である。暦を見ればスリランカ人のおおらかな国民性がよくわかる。

## 歴代王朝が遺した壮大な遺跡群 ロマン漂う文化三角地帯

スリランカの仏教遺跡は印象に残る。だからといって、決して派手という訳ではない。心の中に自然に、しかもストリートに入ってくるのだ。スリランカでは寺院の中に入る際には靴を脱ぎ脱帽しなくてはならない。黄色く輝く強烈な日差しの下、熱い敷石を直に歩くと、釈迦はこのような熱い地で悟りを開かれたのだ、という素朴な思いが湧き起こる。五千人もの僧が遠くは中国からも学びに来ていたというアヌラダープラ。クッタム・ボクナ(沐浴場)に残る水を眺めていると、僧達の祈りの声が聞こえてくるようだ。

アヌラダープラのクッタム・ボクナ(双子の沐浴場)。  
僧院で修業していた僧たちの2つの大きな木浴場





キャンディ観光の目玉、ペラデンヤ植物園。総面積5.6km<sup>2</sup>の広大な敷地に4000種以上の植物が

## 輝く青い海、潮風にそよぐヤシ ビーチで過ごす優雅な時の流れ

ウダワラウエ国立公園のサファリを  
幌なしジープで勇ましく走っていると、  
昨日までの寒さが幻のように思えてく  
る。バードウォッチングやエレファン  
トウォッチングを楽しんだ後、さらに  
南下して南西海岸に出た。一日の間に  
これほど景色が移り変わるとは。青い  
海、うち寄せる白い波、ベージュ色の  
砂浜、ヤシの林。これから二日間かけ  
て、ゆったり、のんびり、ハンパント

タからゴール、コロンボへと海岸沿い  
を北上するのだ。

ゴールはポルトガル人が初めて砦を  
開き、その後東インド会社で繁栄を築  
いたオランダ人が砦をさらに広げてい  
った港町。時計台、要塞、灯台などを  
巡るうちに、歩調が自然とゆつたりと  
してくる。どんな時代にもこの潮風だ  
けは変わらなかったのだろう。ムスリ  
ム(イスラム教徒)の町、ベルワラではマ  
ングローブの密林が生い茂るベントタ  
河をさかのぼるクルーズが人気だ。海  
から河へと熱帯らしい木々が覆われた  
景観がスリランカだ。スリランカはサー  
フィンやダイビング、シュノーケリング、  
ジェットスキー、カヌー、ボート、フィ  
ッシングなど、マリンスポーツのすべて  
を楽しむことができる。各リゾートで  
はインストラクターがいるので初心者  
でも安心だ。ただし南西海岸はモンス  
ーンの時期があるので、海のシーズン  
は十一月〜三月のみ。

## // おふくろの味// カレー 家庭の味を楽しもう

家庭の味が一番、というのは万国共  
通なのだろう。スリランカでは一日三  
食すべてにカレーが登場する。日本の  
ように具をすべてでこった煮にはせず、



コロンボ近郊に住むヴィジェバーラ夫妻の食事に招かれた。野菜カレーの数々に感動

茄子カレー、豆カレー、チキンカレー、  
エビカレーというように一つ一つ素材  
に合った作り方をする。だから同じ味  
のカレーは一つとしてない。それらの  
カレーを何種類かスプーンでご飯と一  
緒に取り皿に盛ってから、右手の指で  
一口分ずつよく混ぜ合わせて食べるの  
だ。指で食べる理由を訊くと、たいて  
い「テイスティ(美味しいから)」とい  
う答えが返ってくる。そう、実に美味  
しいのだ。数種の少量のカレーを少し  
ずつ丁寧にご飯とミックスすることによ  
り生まれる味わいは実に奥が深い。



スリランカへはスリランカ航空が便利  
問) スリランカン エアラインズ リミテッド  
東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル  
TEL.03-3575-4263

ナショナルフラッグキャリアであるスリラン  
カ航空は東京の成田から週3便、スリランカに  
直行便が出ている唯一の航空会社で、そのサー  
ビスには定評がある。

バーサービスや、日本料理とスリランカ料理  
をチョイスできる昼食に、豪華な夜食もつく機  
内食も人気がある。キャンディアン・サリーを  
モチーフにしたスチュワーデスの緑色のユニフ  
ォームの優雅な趣きもうれしい。日本を結ぶ路  
線には必ず日本語が話せるクルーが乗務してい  
て、赤色のユニフォームを着ているので、わか  
りやすい。

### ●タイムテーブル

<成田発〜コロンボ着>  
UL455便(月、木、土曜) …13:20発〜19:40着  
<コロンボ発〜マレー着>  
UL103便(月、木曜) …21:00発〜21:25着  
UL103便(土曜) …20:30発〜20:55着  
<マレー発〜コロンボ着>  
UL102便(水、日曜) …19:45発〜22:10着  
UL104便(金曜) …18:15発〜20:40着  
<コロンボ発〜成田着>  
UL454便(水、金、日曜) …23:50発〜11:50着  
★7月17日より成田発エアバスA340-300就航  
■ツアリスモ・オアシス・ランカ(現地観光局)  
94-1-925445 (FAX925528)  
E-MAIL: TOURISMO@SriLanka.net  
■スリランカ政府観光局(関西支局)  
06-6211-2775 (FAX兼)





有名な竹の庭も本来は修業の場

日本タウン誌協会共同企画

## 編集長 おすすめの旅

神奈川県鎌倉市

鎌倉・報國寺の日曜座禅会体験レポート

## 早起きは三文の得か？



神奈川中央新聞社「リベルタ」  
編集長・明翫勇一郎



「編集長おすすめの旅」は、日本タウン誌協会（事務局・月刊神戸っ子）の会員50社の各編集長が順番に執筆。

鎌倉の名刹、報國寺では毎週日曜日の朝、「日曜参禅会」という座禅会を開き、一般に広くその門を開いているという情報をキャッチ。よせばいいのに、好奇心が服を着て歩いていくスタッフのひとりが突撃体験を試みた。

鎌倉駅からバスに乗り、午前七時、報國寺につく。竹の寺として有名なこの寺は、日中こそ人も多くにぎやかだが、今は禅寺の静かな厳しさを感じる。

本堂に上がり檀家さんたちが交代でつとめる直日という世話人の誘導で記帳をする。袴を貸してくれるのでこれに着替える。靴下を脱ぎ、袴のひもをキックと絞めると気も引き締まる。初心者なので本堂で事前に説明を受ける。当日の参加は、私を含めておじさんが三人。はじめは本堂で入門者だけで「座る」。

カキーンという柝木（たく。拍子木ですな）の音が本堂に響く。思わずビクッとするほどの緊張感が走る。これ

からはすべてこの木の音を合図に立居振舞いを行う。続いて引磬（いんぎょ）という鐘が四つ。ここから「止静」といって座禅三昧に入り寂靜の境に止まる時間となる。

香一炷（こういちじょう）といってお線香一本が燃える時間、約二十分が一単位。初心者には呼吸に合わせて数を数えるように教えられる。自分が数になったように、何も考えないで数を数える。一息十秒くらい。私は数、私は数、と思いながら呼吸していると、不思議な気分になってくる。鳥の声、木々のゆらぐ音が思いのほか大きく聞こえる。信じられないことだが、座禅に慣れれば、お線香の灰が落ちる音まで聞こえるようになるそうだ。ドサッと、かなり大きな音

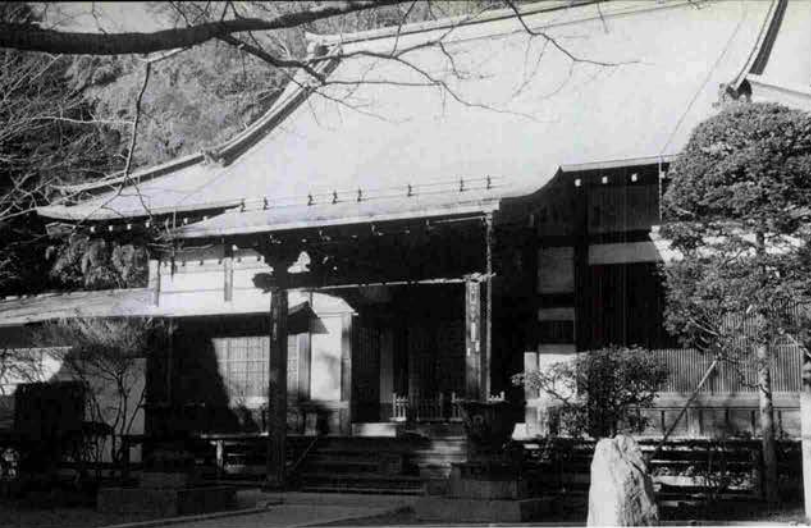
で響くらしい。

が、俗人には様々な雑念が湧いてくる。「おなかすいた、たばこすいたい、きのうのさけがぬけてない」。雑念で揺らいだ私の迷いは座相が崩れることによつて見抜かれる。精神状態がフラフラと、身体も揺れることがわかる。

「フラフラしない！ 余計なことは



「坐禅中につき静粛なこと」の木の立て看板



早朝の本堂にはおごそかな空気が漂う

考えない。ただ数を数える」

直日から声が飛ぶ。ただしここでは、おなじみの棒でぶつ叩かれるようなこととはないので心配なく。

鐘の音に続いて柝木が「カキーン、カキーン」と乾いた音で響き渡る。それとともに足をくずすことが許される。

数分間足を崩して、世話人の方と

「どーですか」「いやいや」などと雑談。

「続けることが大切です」「うむうむ」。

その後もう一柱。ひたすら数を数える。

ひととおおお一つ。ふたあああ一つ。

みいいい一つ。とおうまでいった

らまた、ひとつ。ふた一つ。そろそ

ろ終わりがかと思つたところ、それが雑

念であることに気づく。それを忘れよ

うと思うと、その雑念を忘れようとい

う雑念が浮かぶ。それどころか、かえ

って余計な思考が洪水のようにあふれ

出す。今度くるときは前の晩は禁酒し

よう、終わったらあれ食べよう……。あ

あ、今のオレは雑念のかたまりだ――。

そんな頭を叩くように鐘が鳴り響い

た。今度は徒行と呼ばれる、いわば歩

く禅。境内を無言のままひたすら歩く。

視線を一メートル先に落とし、かなりの早

足で歩く。有名な竹の庭をめぐるのだ

が、そんな状態なので足元が危ない。

おととつと、となりながら今度は道場に。

ここでは熟練者と同席なので、また

違った緊張感がみなぎる。鐘の音と

もに空気がピンと音を立てたように張

りつめる。例によって数を数えながら

それに集中していると、となりの人の

呼吸音が私のなかに響いてくる。いつの間にか、場内の呼吸がひとつになつてうねるのを感じる。

カキーン！ 今度はそれと同時に

「四弘の誓願文」「座禅和讃」といった

お経が唱和される。当然知らないのに、

黙って聞いている。何だか、スゴイ

張り詰めた空気、この緊張感、はつき

りいつてクセになる。ぼーっとしてい

ると、梅干し入りのお粥が運ばれ、お

膳が目の前に突き出される。周りを見

るとみんなもらっているの、すかさ

ずおしいた。そういえばいちばん

最初に、お粥が最後に出ますので、音

を立てずに速やかに召し上がった上、

手できれいにして返すようにとの注意

があったことを思い出した。もたもた

している間に器を取りに来てしまった。

あわてて食べ終るが、梅干しのタネを

出し忘れた、どうしよう。

和尚の講話に続いて、檀家のみなさ

んは境内の掃除にかかり、これで座禅

会は終了する。初心者チームは再び本

堂に戻って和尚のお話をうかがう。「二

十何年、休まずに毎週やっております。

無理をせず、続けることが大切です。

また参加してください」

梅干しのタネはまだ我が口の中にあり。

どうしていいかわからない。結局お礼

をいって寺を後にするまでタネをしや

ぶっていたこのバチ当り。

約三時間の座禅会、外では観光客の

声が響いている。川端康成が「山の音」

と書いた響きは喧騒にかき消されたが、

あの時私は確かにその音を聞いた。



●報國寺日曜参禅会

毎週日曜午前8時から。7時半までに

本堂へ。参加無料。

●報國寺

鎌倉市浄妙寺2・7・4

JR鎌倉駅からバス・浄妙寺バス停から

徒歩3分

●お問い合わせは

神奈川中央新聞社「リベルタ」

〒242・0016

神奈川県大和市大和南1・16・28

TEL 0462・611・6111